

令和4年9月20日

厚生委員会資料

病院事業局

目 次

【報告事項】

- 1 富山市の病院事業のあり方について …… 1 頁

## 富山市の病院事業のあり方について

【病院事業局】

2040年以降の人口構造の変化を見据え、富山市病院事業においては、国の主導する「高度急性期・急性期医療から在宅医療」までの医療機能の分化・強化、連携に向けた取組を、地域に根ざした公立病院として確保・下支えすることが求められている。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行により、新興感染症に対する平時からの備えや感染症拡大時の対応など、改めて公立病院の重要性が認識されている。こうしたことを踏まえ、建物のライフサイクルも含めた今後の本市の病院事業のあり方について、検討を行うもの。

### 1 両病院の概要

病院名	富山市民病院	富山まちなか病院
開設日 所在地	昭和58年10月 【築38年】 富山市今泉北部町2番地1	平成31年4月 【築58年】 (旧逋信病院：昭和39年) 富山市鹿島町二丁目2番29号
面積、 構造、 許可病床数	敷地面積 29,229.12 m <sup>2</sup> 延床面積 43,429.91 m <sup>2</sup> 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上8階建 一般489床、精神50床、 感染症6床 計545床	敷地面積 4,701.41 m <sup>2</sup> 延床面積 3,833.00 m <sup>2</sup> 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上4階建 一般50床
医療機能 及び役割	高度急性期・急性期機能 中核病院	回復期機能（地域包括ケア病床） 後方連携病院
建設費等	10,188,242千円	—

### 2 経営状況（経常収支の推移）

病院事業局全体の決算は、経常収支が、平成28年度から6年連続で赤字となっている。

令和3年度の61,241千円の赤字の要因は、令和2年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響を強く受けていると認識しているが、今後は、コロナ後を見据え、集患対策を中心に医業収益の早期回復が急務と考えている。

(単位：千円)

年度	平成28	29	30	令和元	2	3
経常収支	△89,356	△288,589	△107,892	△632,584	△9,446	△61,241
市民病院	△89,356	△288,589	△107,892	△308,441	183,330	23,521
まちなか病院	—	—	—	△324,143	△192,776	△84,762

### 3 地域医療構想、第8次医療計画、公立病院経営強化プラン

#### (1) 国及び県の対応

急速な少子超高齢化の進展に伴う疾病構造の多様化や医療技術の進歩など、医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、地域全体を視野に入れ、適切な役割分担の下で、質が高く、必要な医療を提供するため、都道府県、各公立病院に対して以下の要請をしている。

- ① 第8次医療計画の策定と併せて、地域医療構想に係る医療機関ごとの対応方針の策定や検証・見直し
- ② 各公立病院に対し、2027年度（令和9年度）までを期間とする「公立病院経営強化プラン」の策定（令和5年度までに策定）

#### (2) 市（病院事業局）の対応

- ① 富山県が策定する第8次医療計画の内容も踏まえ、病院事業の公立病院経営強化プランを策定（2022年度～2023年度）
- ② 2019年度策定の「富山市病院事業局中長期計画」（2020年度～2025年度）及び「経営改善計画」（2020年度～2022年度）の着実な推進

### 4 「富山市病院事業中長期計画」における両病院の位置付け

#### 本市における役割

市民病院：高度急性期・急性期医療を担う地域の中核病院  
まちなか病院：回復期を担う市内急性期病院の後方連携病院

#### 連携・病床再編方針

市民病院：ダウンサイジングによる医療資源の集約化  
まちなか病院：回復期機能の拡充

### 5 あり方検討のスケジュール

令和4年度～令和5年度	基礎調査の実施（まちなか病院を先行して行う） （医療需要の見込み、規模、立地等）
令和5年度以降	「（仮称）病院事業あり方検討委員会」の発足及び 方向性の議論の開始